学校再編だより

矢指小学校

－第4号－

－保護者と地域の協働による検討会議－

令和8年10月発行

旭市教育委員会教育総務課　学校再編室

矢指小学校地域検討会議の検討結果

富浦小と矢指小を統合することには**「賛成」**
統合校の位置について、矢指小学校は**「賛成」**
第一中学校は**「反対」**

１０月８日（木）午後６時３０分から旭市役所市民ホールにおいて、第４回矢指小学校学校再編地域検討会議を開催しました。

今回の会議では、矢指小学校地域検討会議としての意見を取りまとめた検討結果ついて最終確認をしました。

富浦小学校と矢指小学校の２校を統合することについては、年々児童数が減少している中で、子供たちの教育環境充実のためにはやむを得ないとして、賛成となりました。

統合校の位置については、統合時期、改修費用、建物の新しさ、平屋建てのメリットなどの理由から、矢指小学校に賛成、第一中学校は反対となりました。

今回の会議をもって、矢指小学校 学校再編地域検討会議は終了となります。

今後は、各地域検討会議の代表者で構成する代表者会議を設置し、それぞれの検討結果を持ち寄り、改めて再編の可否、統合校の位置について審議します。

これまでの会議概要

日　時	内　容	主な配付資料
第１回（７月９日）	旭市学校再編基本方針の概要について （仮称）旭地域南小学校について	・基本方針策定経緯 ・旭地域南小学校概要
第２回（８月５日）	統合校の候補地について	・各学校の立地と避難計画 ・候補地比較表
第３回（９月１８日）	２校の統合について	・統合校の整備例
第４回（１０月８日）	地域検討会議の検討結果について	・地域検討会議検討結果（案）

【検討の経緯と理由】

矢指小学校は、明治10年の創立以来、地域と共に歩んできた歴史と伝統があり、地域に根付き親しまれている学校であるが、近年の少子化で児童数は令和８年度には102名となり、さらに減少していくことが見込まれている。会議の中では、児童数が減少しているため統合はやむを得ないという意見が多数であり、富浦小と矢指小を統合することに賛成となった。

統合校の位置：矢指小学校

矢指小学校を統合校として活用することについては、統合のスピード感、費用面、施設の経年状況に加え、平屋建てでバリアフリー構造による有事の際の避難のしやすさなどから、大半が「賛成」とする意見であった。

統合校の位置：第一中学校

第一中学校を統合校として活用することについては、統合までに要する期間や学区外に位置していることなどを理由に「反対」とする意見が多く見られた。一方で、垂直避難が可能という利点や、小中一貫校の可能性を考慮し、留保的な意見もあった。

その他の意見

・統合校の位置を矢指小にする場合には、その課題についても地域と一体となって考えていかなければいけない。
・見通しの悪い道路に横断歩道や信号を付けるなど、通学路の整備が必要。
・統合にあたっては、両地域の意見を聞いて、多くの人が納得できるように進めてもらいたい。

地域検討会議終了後の流れ

地域検討会議



【富浦小】
２０名

代表者
11名



【矢指小】
１９名

代表者
11名

学校再編代表者会議（審議会）

【2校の代表者で再度審議】
再編の可否、統合校の位置について



22名

最終的には採決を行い、出席委員の3分の2以上の賛成により決定

3分の2以上の賛成が得られなかった場合
↓
別の方向性を検討

学校再編ホームページ　学校再編基本方針の説明動画　旭地域南小学校の説明動画　地域検討会議

【お問い合わせ先】　旭市教育委員会教育総務課学校再編室
TEL:0479-85-8614　FAX:0479-62-5855
Email:kyo-saihen@city.asahi.lg.jp